

平成28年9月のきになる通信



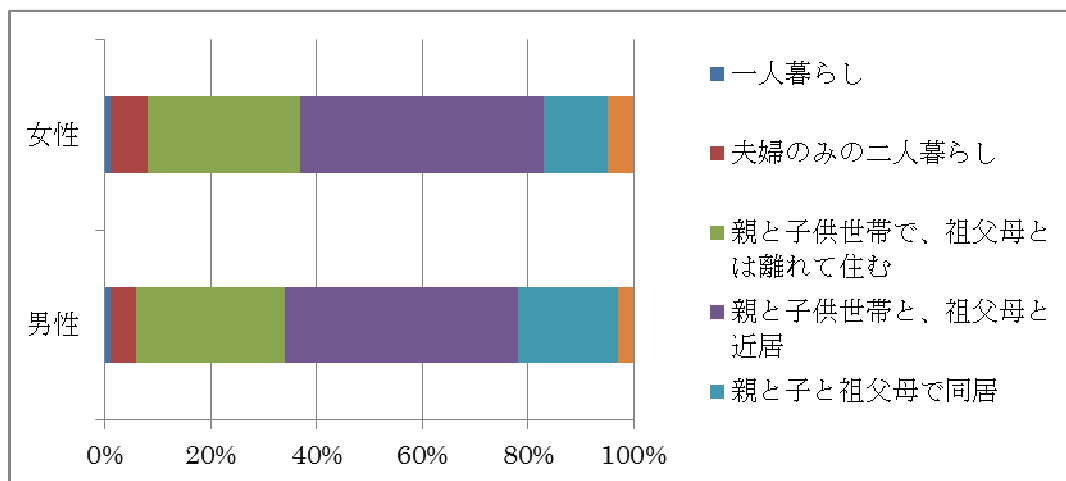
注目集める近居という住まい方

☆祖父母の育児や家事の手助けが必要だと思うか

とてもそう思う	46.9%
ややそう思う	31.8%
どちらとも言えない	12.9%
あまりそう思わない	7.1%
まったくそう思わない	0.9%
わからない	0.4%

出展：内閣府の「家族と地域における子育てに関する意識調査報告書」

☆30～40代が考える理想の家族の住まい方



出展：国土交通省の「若年・子育て世帯、高齢者世帯の現状と論点」

(2016年8月4日 日本経済新聞記事から抜粋)





中古住宅購入時に補助 改修費最大50万円 40歳未満に

政府、空き家解消促す

政府は中古住宅を購入する際に必要なリフォーム工事の費用を、1件当たり最大で50万円補助する制度を創設します。対象を40歳未満の購入者に絞り、5万戸の利用を見込んでいます。

リフォームの施工業者が中古住宅の購入者に代わって国の事務局に申請し、補助金を受け取って工事代を安くする仕組みを想定しています。住宅診断を受けていることが条件。

日本の住宅市場に占める中古の割合は15%程度にとどまります。

政府はリフォーム市場を2013年の7兆円から2025年までに12兆円に伸ばす目標を掲げています。全国で820万戸に達する空き家対策にもつなげます。

住宅診断 日本、欧米に比べ普及遅く

- ・中古住宅などを購入する際に、住宅の傷み具合や安全性などを第三者が点検する仕組み。
- ・取引を仲介する業者が、売り手や買い手に住宅診断を受けるかどうかを確認するよう義務付ける法律が成立。
- ・国交省は、2013年に4兆円だった中古住宅市場を2025年までに8兆円に倍増させる目標を掲げています。
- ・検査は目視や触診などによって実施され、5万円程度の費用。

国交省が定める住宅診断の指針（戸建て住宅の場合の検査項目）

対象	チェック項目	検査手法
構造上の問題	柱などが腐食していないか	目視や触診など
	床が過度に傾斜していないか	計測
雨漏り	屋根や外壁の雨漏りが生じそうな欠損がないか	目視
配管の劣化	給水管がさびて赤水が生じていないか	触診など
	換気部分が脱落したり接続不良になっていないか	目視など

(2016年8月21日 日本経済新聞記事から抜粋)



住まいのきになる - 屋根 その2

症状 - 屋根材が割れている

☆考えられる原因

- ・強風・地震・飛来物の衝突が主な原因と考えられます。
- ・寒冷地では、温度の急激な変化で割れることもあります。
- ・アンテナ工事時の歩行や、屋根の点検時の歩行が原因の場合もあります。
- ・屋根施工時の工事ミスが原因となる場合。

☆診断の準備

- ・高い所から落下したり、屋根を見上げていてつまずいたりする恐れがあり危険です。
- ・危険を感じたら無理をせずに、施工業者に見てもらいましょう。
- ・屋根工事は高所作業です。プロに任せましょう。

☆対処

・割れている部分の泥やほこりを箒・ワイヤーブラシ・濡れぞうきんなどできれいに取り除きます。その後、コーキングか速乾セメントによる修復を行います。

●コーキングによる修復の場合

- ①清掃して乾燥させた後、割れている部分の両側にマスキングテープを貼り、専用のプライマー（付着をよくする液体）を塗り、もう一度乾燥させてからコーキングを充填します。
- ②表面をヘラで平らに仕上げ、すぐにマスキングテープをはがします。
- ③固まるまでに2～3日かかります。その間は触らないようにします。

●速乾セメントによる修復の場合

- ①屋根材の一部が欠けているなどの損壊をした場合に向いています。
- ②水を混ぜるだけで手軽ですが、真冬の寒い時期（2度以下）や真夏の暑い時期（25度以上）の使用は避けた方がよいでしょう。

塗り込む部分は良く湿らせておくことがポイントです。

（参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」）

